

鶏肉情勢

令和3年10月4日 更新

全農チキンフーズ㈱

項目	内容
供給	1. 国内 (1) 生産・処理動向調査((一社)日本食鳥協会令和3年9月下旬実施)によると8月の推計実績は処理羽数57,965千羽(前年比101.9%)・処理重量171.5千ト(同104.2%)となった。前月時点の計画値より処理羽数は0.3%下方修正し、処理重量は1.0%上方修正となった。重量ベースでの増加が大きく、夏場の天候不良の影響で気温が上がり過ぎなかったことにより好調な増体を維持できたことが同え、全体的に安定した生産状況となった。 (2) 生産の見込みでは令和3年10月は処理羽数・処理重量ともに前年を下回る見通しで若干、減少する見通し。11月は処理羽数が前年同月比で102.7%、処理重量で101.8%と前年実績を上回る計画である。鶏肉需要も良くなってくる時期になるため、各産地の増体の向上に期待したい。国内の処理工場でもコロナ禍で技能実習生の入国ができず、人手不足の工場が多々あり、満足な商品供給ができていないなど、工場の安定稼働に苦慮している。
	2. 輸入 (1) 財務省9月28日公表の貿易統計によると令和3年8月の鶏肉(原料肉)の輸入量は4万6,933トで前年同月の実績を約16.4%上回った。直近の見通しについても主な輸入先のタイでコロナ禍による生産段階や処理場等でのクラスター発生により感染拡大が止まらず、製造ができていない工場もあるため、来月以降の輸入量に影響が出ることが予測される。特に加工品にも使用するも切身は現在も不足となっており、日本国内ではブラジル正肉や一部では国産品を代替えとして使用するとのお話も聞かれる。 (2) 鶏肉調整品の輸入量は4万4,071トで前年同月比132.6%と前年を大きく上回る結果となった。一部量販店では輸入冷凍唐揚げの販売休止など、すでに海外工場の停止による影響がでており、輸入原料を使用した加工品の不足が懸念される。今後も鶏肉調整品の輸入量も減少する見込みであり、輸入原料・国産原料を併用した加工品が多いため、国産鶏肉の拡大も期待される。
需要	1. 家計消費 (1) 総務省統計局発表の家計調査報告によると、令和3年7月は、全国一世帯当たりの3畜種生鮮肉の消費(購入)数量4,298g(前年比98.7%)、金額6,097円(同96.5%)と、前月同様に前年を下回った。鶏肉も同様に前年を下回っており、7月は数量1,440g(同94.1%)・金額1,265円(同92.7%)で前年を下回った。また、加工品についても加工肉全般で金額1,625円(同96.0%)と前年を下回っている。外出の自粛等で弁当や冷凍調理食品を食べる人が増え、畜産消費の低迷は続いているが今後、鶏肉消費が増加することを期待したい。
	2. 量販・卸 (1) 食品関連スーパー3団体の販売統計速報によると、令和3年8月の食品売上高は全店ベースで前年比98.5%と前年を下回った。また、生鮮3部門の売上高は全店ベースで前年比96.7%、既存店ベースでも同95.7%と前年を下回った。青果・水産部門でも全店ベースでは前年を若干、下回ったが畜産部門の売上高は約1,248億円で全店ベース(同100.6%)、既存店ベース(同99.3%)と前年並みに推移した。「天候不良や在宅傾向の高止まりにより、バーベキュー用食材が不振となる一方で保存に優れた畜産品の需要は再び拡大傾向がみられた。牛肉は焼肉、ステーキ用が好調となったが和牛は前年より価格が高く伸び悩んだ。豚肉はしゃぶしゃぶ用が好調、鶏肉は相場が低下傾向にあり、前年並みに回復した店舗が多い。ハム・ソーセージなどの加工肉は前年好調の反動もみられた」と報告された。また総菜部門の売上高は全店ベース(同103.7%)、既存店ベース(同102.3%)ともに高水準を維持している。「外食店の時短営業による家飲み、自宅でのオリンピック・パラリンピックの観戦需要として焼鳥やつまみ類が引き続き堅調に推移。米飯類やベーカリー寿司類や冷麺類、サラダなどの冷惣菜、揚げ物も好調に推移した。帰省客減少や催事中止により、地方ではお盆時期のオードブルが不振となった。バラ売り販売自粛の影響が緩和してきた」と報告があった。天候不良等により青果関係の需給逼迫があり、高騰が続いているが徐々に気温の低下もみられ、鍋シーズンとなってきている。青果関係は鍋のメイン商材でもあるため、価格が安定することを期待したい。
	3. 業務・加工筋 (1) 日本ハム・ソーセージ工業協同組合調べによる令和3年7月度の鶏肉加工品仕向肉量は、前年比103.6%の4,991.8トとなった。うち国内物は同94.7%の3,731.2トと下回り、輸入物は同143.6%の1,260.6トと上回った。前月同様に輸入原料を使用した加工品の製造量は多くなっており、先々の原料不足を見込んでの製造かと推測される。
在庫	1. 令和3年(2021年8月) (1) (独)農畜産業振興機構の推計期末在庫では国産34.9千ト(前年比124.6%・前月差+0.5千ト)、輸入品111.4千ト(同80.1%・同▲2.3千ト)と合計で146.3千ト(同87.6%・同▲2千ト)となった。9月以降の在庫についても輸入量の減少が見込まれるため、前年を下回ると推測される。
	2. 見通し (1) (独)農畜産業振興機構の需給予測(令和3年9月28日公表)では、8月の出回り量は国産133.4千ト(前年比102.9%・前月差±0千ト)、輸入品46.9千ト(同112.2%・同▲4.9千ト)と合計で180.3千ト(同105.2%・同▲4.9千ト)となった。9月～10月頃の出回り量は前年並みと推測されているが、引き続き、タイ等からの正肉関係、加工品が減少する見込みで輸入在庫は減少傾向になると推測される。国産鶏肉在庫については少しずつも肉の動きも良くなってきており、依然としてむね肉・ささみの加工原料やペット関係等の需要の高まりもあり、減少が見込まれる。
相場	1. 令和3年9月動向 (1) 令和3年9月の月平均相場は、もも肉580円/kg(前月比▲3円)・むね肉316円/kg(同+8円)正肉合計で896円/2kgと前月比で5円上回り、前年比では6円上回った。もも肉は月初571円で始まり、上げ下げを繰り返して、月を通じて上げ基調となり、月末587円と16円高で相場の底に達したかと推測される。むね肉は月初311円で始まり、全体的に上げ基調となり、比較的高水準の315円前後を維持しながら、月末は322円と11円高となり、輸入鶏肉の影響もあり、高水準を維持している。
	2. 見通し (1) 気象庁発表の向こう1か月の見通しによると、10月の気温は全国的に平年より高いと予測されている。緊急事態宣言も解除となり、営業時間の制限等はあるものの外食関係に少しずつ動きが見られる。量販店では秋冬への棚替えも終わり、生つまみ等の商品も多く並んでいる。もも肉は少しずつ販売の動きも良くなり、やや上げの月平均600円と予測する。むね肉は依然としてタイ等からの輸入量の減少に伴い、量販店の取り扱い冷凍食品等の加工原料が一部国産にシフトするとの声も聞かれ、加工筋向けの引き合いが強いことから、やや上げの月平均320円と予測する。 (2) テーブルミートは内食需要に支えられており、輸入原料の不足が見込まれる中で国産鶏肉の動きがよくなってきている。需要期を迎えたもも肉は少しずつ上昇していくのではないかと推測される。

実績												
生産状況 単位:千羽、千トン、%												
	R3年8月推計実績		R3年9月計画		R3年10月計画		R3年11月計画					
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比				
入雛羽数	65,524	102.3%	65,242	98.5%	70,691	98.7%	61,084	101.9%				
処理羽数	57,965	101.9%	59,571	100.9%	62,727	98.3%	62,314	102.7%				
処理重量	171.5	104.2%	175.0	103.0%	187.6	98.5%	186.7	101.8%				
※参考資料: ㈱全国食鳥新聞社発行「PMN」												
輸入動向 単位:千トン、%												
品名	鶏肉			調製品			合計			比率		
履歴	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	鶏肉	調製品	
R3年5月	46.2	36.1	128.0	36.0	36.6	98.4	82.2	72.7	113.1	56.2	43.8	
R3年6月	42.8	50.7	84.5	40.5	41.6	97.3	83.3	92.3	90.3	51.4	48.6	
R3年7月	44.7	51.6	86.7	43.9	38.4	114.3	88.6	90.0	98.5	50.5	49.5	
R3年8月	46.9	40.3	116.4	44.1	33.2	132.6	91.0	73.5	123.7	51.6	48.4	
R3年累計	380.8	357.6	106.5	322.1	308.1	104.5	702.9	665.7	105.6	54.2	45.8	
鶏肉の消費動向(2人以上の世帯) 単位:グラム、円、%												
履歴	数量			金額								
	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比						
R3年5月	1,527	1,716	89.0	1,426	1,578	90.4						
R3年6月	1,461	1,599	91.4	1,328	1,408	94.3						
R3年7月	1,440	1,530	94.1	1,265	1,364	92.7						
R3年平均	1,503	1,575	95.4	1,377	1,428	96.4						
※参考資料: 総務省統計局HP												
相場(年別・暦年) 単位:円												
	もも肉	むね肉	計									
H26年	626	294	920									
H27年	639	336	975									
H28年	621	255	876									
H29年	626	315	941									
H30年	595	282	877									
R元年	585	243	828									
R2年	614	269	883									
在庫状況(推定) 単位:千トン、%												
履歴	国産			輸入品			合計					
	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比			
R3年5月	32.8	21.1	155.2	129.4	148.2	87.3	162.2	169.3	95.8			
R3年6月	34.1	18.5	183.9	121.7	152.1	80.0	155.8	170.6	91.3			
R3年7月	34.5	29.5	117.0	113.7	140.5	80.9	148.2	170.0	87.2			
R3年8月	34.9	28.0	124.6	111.4	139.0	80.1	146.3	167.0	87.6			
※実績参考資料: 畜産日報、農畜産業振興機構												
相場(月別) 単位:円、%												
品名	もも肉			むね肉			正肉合計					
履歴	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比			
R3年6月	631	610	103.4	296	257	115.2	927	867	106.9			
R3年7月	600	598	100.3	301	261	115.3	901	859	104.9			
R3年8月	583	596	97.8	308	272	113.2	891	868	102.6			
R3年9月	580	609	95.2	316	281	112.5	896	890	100.7			
R3年10月	(600)	632	94.9	(320)	292	109.6	(920)	924	99.6	※()は見通し		
R3年11月	(620)	654	94.8	(320)	302	106.0	(940)	956	98.3			
R3年平均	648	600	108.0	306	258	118.6	954	858	111.2	※1-9月平均		